



すくすく

NO.29 平成19年10月1日発行

骨折してからはじめて気づいたこと

院長 金原洋治

今年の夏は、私の不注意から転倒し大腿骨を骨折してしまい、皆様には大変ご心配、御迷惑をおかけしました。代診をしていただいた石本先生や済生会下関総合病院の先生方には本当にお世話になりました。おかげさまで、順調に回復し杖歩行にまで回復してきました。今回、骨折して始めて気づいたことが沢山ありますので、ベッドの上で感じたこと、あるいは今も感じていることのいくつかをお話させて頂きます。

今回の入院で一番大変だったのは、出術前と手術の当日のたった2日間ですが、寝返りができないため、腰や背中が痛くほとんど寝られなかったことです。手術するまでは足の指を1cm動かすだけでも痛くて、体を動かすことができなかったのです。自分では寝返りができない方々、お子さんのために毎晩何度も起きて体位変換の介助をしておられるお母さんやお父さんのご苦労に思いを馳せ、大変だろうなと改めて実感しました。

松葉杖歩行を許可いただいていた感じは、歩行するだけなら平らな場所では困らないのですが、両手が使えないため、物を運ぼうと思っても運べないことでした。早朝入れる珈琲の水、愛犬みかんちゃんの餌、クリニツクの書類、書店で見つけた買いたい本などが運べないことです。人間は、獲物

を運ぶのに、口にくわえていたものを前足で運ぶために2足歩行しはじめ、このことが他の哺乳動物との進化の過程の決定的な違いだ」という学説が胸にストーンと落ちました。

最近、街に出て外食したり、講演会後の会食などにも少しづつ参加できるようになりました。その時に頭に浮かぶのは「1階だろうか？、エレベーターはあるのだろうか？ 椅子や掘りごたつだろうか？」ということですが、現実には、バリアフリーになっている場所は少なく、かなり選択肢が狭まることに気づきました。食いしんぼうの私には不自由な日々がもう少し続きます。

退院後は、以前から予定に入っていた講演や研修会の講師などのお役目を果たして来ましたが（県外や受傷後、間がない時期のものはキャンセルし御迷惑をおかけしました）、多くの人が利用する場所でありながら、3階の会場なのにエレベーターやスロープがない会場が2カ所ありました。松葉杖でないと昇降しましたが、とても大変でした。「車椅子や杖の方、赤ちゃん連れの方は、参加できないものも多いのだな」と思いました。

以上、今回の骨折の経験で感じたことを述べましたが、改めて「障害ってなんだろう」ということを考え直すいい機会になりました。私は、幼い頃にポリオを患ったため、もともと左足が少し不自由です。身体障害者手帳6級を持つていますが、障害が軽度だったこともあり、日々の暮らしや仕事、余暇の活動に参加する事に不自由は感じ

ませんでした。

今世紀の始めに、WHOは障害に対する考え方を大きく変え、「骨折した方や妊婦さん、高齢者の方々などさまざまな心身の機能の不調により、一時的にも日常生活や仕事や余暇活動に参加が制限される状態」にまで、障害の定義を広げました。そして、「障害は個人の責任ではなく、参加や活動がしやすいように支援するのは社会の責任だ」ということを明確にしました。

私たちの街は、まだまだWHOの理念にはほど遠いのが現実ですが、この下関が、子ども達やお年寄り、障害をもった人達などすべての人が住みやすい街になればいいですね。行政だけにたよるのではなく、一人一人が、ささやかな取り組みでもいいので始めましょう。私たちと一緒に!!

院長不在のお知らせ

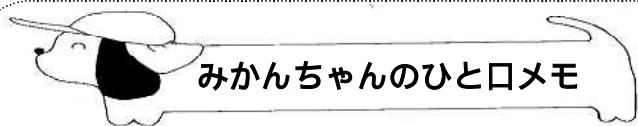
学会、講演や会議のため下記のとおり不在です。
11月14日(水)
講演会の為、17時より不在です。
17時より18時まで、石本医師の診療となります。

年末年始のお休み

12月29日(土)～1月3日(木)

第4回じねんじょフェスティバル

10月7日(日)10時15時 雨天決行
かねはら小児科1F、2Fと駐車場
じねんじょ3F、4F
ステージやフリーマーケットもあります。
小児科スタッフも参加してまーす!!

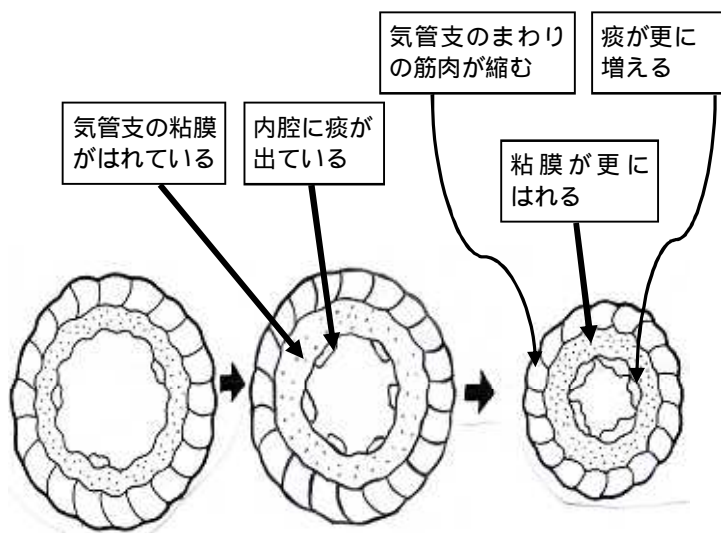


みかんちゃんのひと口メモ

～喘息なんか恐くない～

「喘息」・・・本当は呼吸困難をおこす恐い病気です。しかしその正体を知り、生活を改善し、適切な治療や予防をしていけば大丈夫。これから、このコーナーで数回に分けて一緒に勉強していきましょう。

まず今回のテーマは「喘息の正体を知ろう」喘息発作が出ているとき息が苦しくなったり咳がひどくなったりしますね。その時の気管支の断面を見てみましょう。



[正常な気管支] [発作がないときの喘息児の気管支] [喘息発作のときの気管支]

喘息のお子さんでは、炎症性の変化は、大きな発作が起きていない普段の状態でも続いています。炎症が起きている気管支は、より過敏性が高まっています。つまり発作を繰り返す程、発作が起きやすくなります。逆に発作を起こさないほど発作が起きにくくなります。喘息は普段からの発作の予防と発作時の早期対応が大事ですね。

*みかんちゃんは金原家のミニチュアダックスフンドです。ときどき院長と一緒に出勤しています

編集後記

日暮れが早くなってきましたね。明け方や夕方、空の色が刻々と変化して、何色にも染まっています。この色『至極色』と言うそうです。一言ではいい表せない色と言うのでしょうか？ 夕方は気ぜわしい時間帯ですが、空の色に心和むといいですね。

モモ、クリさんねん

インフルエンザ接種の予約を始めます

インフルエンザ接種は予約制ですので、お電話または直接受け付け窓口にてお申込み下さい。

予約期間	10月1日(月)～ 定員になり次第終了	
接種期間	10月22日(月)～12月下旬	
料金	1才～5才	2,000円
	6才～18才(高校生)	2,500円
	19才以上	3,000円

原則として、県内在住の1才以上のお子さんご両親のみとなります。

13才未満の方は2回接種です。
2回目のご予約は1回目の接種が終わってから受付ます。

中学生以下の方は母子手帳を必ずお持ち下さい。小学生以上の方や、保護者の仕事の都合で平日の来院が難しい方を対象に、土曜日の午後(以下の2回のみ)接種時間を設けています。ぜひご利用下さい。

接種日	11月17日(土) 14:00～16:00
	12月15日(土) 14:00～16:00



おすすめの絵本

『しりとりしましょ』

さいとうしのぶ 作

「おいしそ-」絵本を開くと思わず笑顔がこぼれます。食べ物達がカワイイ姿で、しりとりしながら登場すると

「ちゃん(君)はどれが好き?」「僕はねー」「私はねー」「知ってる食べ物はあるかな?」...きっと会話が弾みますよ。『す』のつく食べ物は何か?子どもさんと一緒に探してみてくださいね。

栄養相談日

栄養士が担当します。子どもさんの栄養に関すること何でも相談してください。

時間 14時～16時

10月10日(水)	11月27日(火)
10月17日(水)	12月12日(水)
11月14日(水)	12月19日(水)
11月21日(水)	

夜間急病診療所のご案内

夜間の急病時には夜間急病診療所をご利用下さい。

場所 下関市大学町2丁目(市大近く)

診療時間 19時～23時 電話番号 52-3789

発行人 かねはら小児科 金原 洋治
山口県下関市生野町2 28 20
0832 52 2112
HPURL <http://members.jcom.ne.jp/28149681/>